

- ◆ 土木工部門
 - （株）阿久津土建
 - （阿久津 亮）
 - 大関建設（株）
 - （大関 好男）
 - 剋真建設（株）
 - （小林 克男）
 - 東石建設（株）
 - （田村 初男）
 - （有）松本工務店
 - （松本 友一）
 - （株）丸二工務店
 - （鈴木 正行）
 - （株）水澤土建
 - （水澤 達裕）
- ◆ その他工部門
 - 剋真建設（株）
 - （小林 克男）
 - 松本建設（株）
 - （松本 敬介）



優良建設工事表彰式

7月14日（木）、令和4年度真岡市優良建設工事表彰式が行われました。
この表彰は、前年度に完成した建設工事のうち、優秀な成績で施工した会社を対象としており、今年度は次の会社を表彰状が贈られました。

※カッコ内は代表取締役氏名（敬称略）

地元の人や観光客が楽しめるように、二宮尊徳資料館の周辺を整備してほしいです。



物部小 橋本 柊 議員

【答弁】資料館の周辺は、地域の方々の協力のおかげでイベントも復活し、にぎわいが戻りつつあります。一方、桜町史跡公園の小川や池は、枯れ草が浮いて生き物を見つけにくいので、池の清掃回数を増やします。今後も地域の皆さんと力を合わせ、多くの人に気軽に訪れてもらえるよう、創意工夫していきます。

1年中いつでも安心して利用できる、交流の場となる屋内プールを建設してほしいです。



久下田小 山本 遥馬 議員

【答弁】屋内プールは天候に左右されず、年間を通して利用できる利便性の高い施設です。しかしながら、現時点において屋内プールを建設する計画はありません。熱中症対策のため、プールの授業が中止となる場合もありますが、プール開設時には水泳を思う存分楽しんでほしいと思います。

子どもを守る観点から、真岡市ではどのようないじめ防止対策を考えていますか。



真岡西小 水野 円佳 議員

【答弁】真岡市では「いじめは決して許されない」という視点で対策に取り組んでいます。具体的には、毎年4月に先生方の研修を行っているほか、各学校では児童が主体で取り組むいじめ防止サミットを行っています。また、アンケートを回答しやすくする改善策として、タブレット端末の活用も検討しています。

子ども医療費の助成対象年齢を現在の中学生までから高校生までに広げてほしいです。



真岡西小 佐野 帆那 議員

【答弁】子ども医療費助成制度については、現在、栃木県内の各市町で対象年齢が異なっていることが課題となっています。そのため、現在、栃木県に調整をお願いしているところであり、今後も引き続き、県と相談しながら助成対象年齢の引き上げについて考えていきます。

SDGsのゴール4「質の高い教育をみんなに」の達成に向けた市の取り組みを伺います。



真岡西小 細谷 昊伽 議員

【答弁】真岡市では、学習環境の整備や学習指導の充実、体力の向上に取り組んでいます。例えば、電子黒板やタブレット端末を積極的に活用して分かりやすい授業を行っています。そのほか、全国学力・学習状況調査や新体力テストの結果を分析し、苦手分野の改善や体力づくりに役立てています。

学校林で多くの人との交流を増やすために、ベンチや遊具を設置してほしいです。



大内東小 梁木 歩美 議員

【答弁】学校林へのベンチ設置については、活動状況や設置場所などを確認した上で、必要に応じて対応します。遊具については、交流の場として有意義なものと考えますが、設置場所や広さなどの課題があるので、利用状況や今後の活動計画などを参考に必要性について考えていきたいと思います。

高齢者の買い物の負担を少なくするために、移動スーパーの日数を増やしてほしいです。



西田井小 加藤 俊仁 議員

【答弁】移動スーパーの運行コースなどについては、地域の方の希望を聞いたうえで、スーパーの方が利用人数や運行効率を調整しています。そのため、巡回の日数や場所については、市やスーパーの方、地域の皆さまと話し合いながら、地域の皆さまに愛される移動スーパーを目指していきます。

中村小は統合により空き教室がありません。充実した学校生活のために増築を提案します。



中村小 賀川 裕翔 議員

【答弁】教室の増築は、将来の児童数に対して教室がどれくらい必要かなど、十分に検討してから行う必要があります。現在の推計では令和6年度まで空き教室はありませんが、令和9年度には2教室が空き教室となる見込みです。そのため、不便な点もあるかと思いますが、中村小の増築予定はありません。

よい歯のポスター、作文、標語などを表彰・展示

6月4日（土）から10日（金）の「歯と口の健康週間」に合わせ、芳賀歯科医師会による、芳賀地区の小・中学生の「よい歯の図画および作文、ポスター・標語コンクール」が実施され、選定された作品を市役所本庁舎1階市民ロビーに展示しました。また、6月5日（日）、市役所において、受賞された方々に対し、表彰式を行いました。



ノバックスワクチン開始

県内市町では初となるノバックスワクチンの接種が7月16日（土）、集団接種会場のスポーツ交流館で始まり、集まりました。これまでは異なる技術で作られたこの国内製造ワクチンは、発熱等の副反応が比較的少ないとされ、医学的見地から接種を控えていた方に対する接種の可能性が期待されています。



まちつく7つの企画 発表会

7月16日（土）市役所で、市の活性化を目指す真岡まちづくりプロジェクト「まちをつくろう（通称まちつく）」のメンバーによる「できたらいいなをカタチにする」発表会が行われました。
今回は、今年度から参加した高校生と大学生約40人が中心となり、昨年度の1期生や社会人メンバーがサポート役にまわり進められました。7つのグループが発表した企画の中には、五行川河川緑地を生かし、誰でも参加でき楽しめる音楽イベントや、高校生や地域の人々が気軽に訪れることができる放課後ドーナツ店など、にぎわいを創出する案がありました。今後さらに検討を重ね、各企画の実現に向けて準備が進められます。

